

1 5 4  
隔 月 刊

8月

http://www.netlaputa.  
ne.jp/~yamanote

あたたかい介護をお届けします

## まごころサービスだより

●発行 NPO法人東京山の手まごころサービス  
 ●編集 広報 〒169-0075 新宿区 高田馬場1-32-7 信ビル 301  
 ☎受付 3205-6813(留守電共)・3205-7900 FAX 3205-6766

利用者にとって負担増になる  
厚労省「臨時措置」の是非

代表 服部万里子

残念ながらコロナウイルス感染症の拡大が止まりません。コロナ禍にあつて厚生労働省は、本年6月1日に「新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取り扱いについて」を示し、介護保険の通所系サービスと短期入所系サービスについて、報酬上の特例(上乘せ)を臨時的に認めることを明らかにしました。

この施策に対して、「事業所の減収対策は必要ではあるが、それを何故、利用者に負担させるのか」と撤回を求める国会集会在7月18日に開かれました。それに対し、厚生労働省は、「事業所の減収対策ではなく、感染対応に使った時間を費用化したもので利用者にもメリットがある」とし、利用者の自己負担は当然であるとの見解でした。

## ①感染対応への評価というなら、訪問介護への評価はどうなるのか

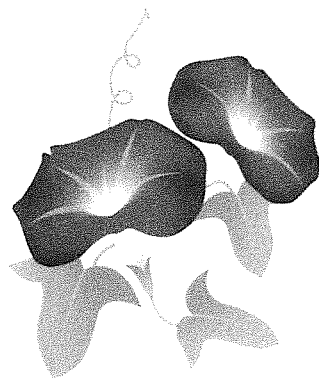
まごころサービスは、ヘルパーの努力と徹底した感染予防策で、在宅へのサービスを止めることなく継続しています。手洗い、マスク、換気、消毒などの対応はもとより、「コロナへの不安」を訴えるご利用者に対し、懇切丁寧に向き合い、精神面でのサポートにも配慮するなど、きめ細かい対応で在宅生活の支援をしています。

片や、通所系サービスや短期入所系サービスについていえば、コロナ禍により、利用者も減り苦闘を強いられているのも確か。しかしながら、それを補うのは、国の報酬で支払うべきで、利用者に負担させるのは納得できません。というのも、厳しい状況にあるご利用者にとっては、さらに追い打ちをかけることにもなり、また、限度額をオーバーすることにより、サービスを調整する人も出てくるのが予想されるからです。気掛かりなのは、「お世話になつているので断れない」といったように、やむなく負担増に同

意する人が出てくることで、本来対等な利用者とサービス事業者との関係がいびつになることも危惧されます。

②まごころのヘルパーは、今夏も介護現場の最前線で務めを果たします

先の見えない状況の中、訪問介護員への期待はより大きくなっています。実際、厚生労働省では、休業したデイサービスがあつた場合に、その代替案として、ヘルパー利用を促進する方針も示しています。しかしながら、コロナ禍においては、ホームヘルパーにしても感染のリスクにさらされながら自らの任務を果たしているのが実態です。国には、訪問系サービスに対しても、納得のいく施策を講じてもらいたいと思います。



## ■Q&A『複合災害に備えて』:

### 自治体の避難情報【警戒レベル3】は高齢者が避難する目安です

Q: 新型コロナウイルス感染症と自然災害の複合災害に備えるにはどうしたらいいでしょうか

A: コロナの感染対策の1つが身体的距離の確保、そして、3密「密集、密接、密閉」を避けることです。しかし、感染を恐れるあまり、避難所を警戒し過ぎて、何がなんでも避難しないというのは危険で、まずは命を守る行動を優先することです。片や、ハザードマップや災害情報、現状のすべてにおいて、自宅での安全が確実なものであるならば、わざわざ感染リスクのある場所へ行く必要がない場合もあります。避難にあたっては、正しい情報のもと慎重に行動したいものです。ちなみに、安全が確実であれば、親戚や知人宅、ホテルの利用など、いわゆる分散避難も3密を避ける上で有効です

Q: 「車中泊」は分散避難になりますか

A: 分散避難の1つになりますが、懸念されるのは「エコノミークラス症候群」のリスクがあること。どうしても車中泊をしなければならない状況であれば、あらかじめ注意点を把握しておく必要があります

①車内で長い時間、同じ姿勢でいることは危険です ②休息また睡眠をとる場合は、極力、足を高くして、体を平らな状態に ③こまめに水分補給をし、また、車外・車内ともに出来る範囲での柔軟体操をする

※但し、高齢者や持病がある人、体力が低下している人に、車中泊はお勧めできません

Q: 避難所に行く際に用意するものは

A: これまでの災害と異なる点は、コロナ禍ということもあり、体温計やマスク、アルコール消毒液（携帯できるような簡易タイプ）などがあれば、安心です。他に、従来通りの防災用品の他、とりわけ避難所においては、防寒具や上履きなどの用意があると重宝します

## 現場 — ing

● 買い物など外に出る際に、「暑いので気をつけて」と、優しい言葉をかけてくださいます。さり気ない一言に仕事のやりがいを感じています。

● 痰が出ることもありましたが、おしなべてお元気そうでした。2か月ぶりにサーブスに入ったので、こちらの耳が慣れていないこともあり、言葉がよく聴きとれない時もありました。久しぶりの学校は、とても楽しかったとのこと。また、友達に会えたことが嬉しかったと、おっしゃっていました。

● 雨上りの蒸し暑い日、買い物に行く途中でヤマボウシ（落葉小高木）の花を見ました。花といっても花弁ではなく、正しくは、花の付け根の葉といたのですが、以前から興味を持たれていたそうで、「間近で見ることができてよかった」と、喜んでいらっしゃいました。

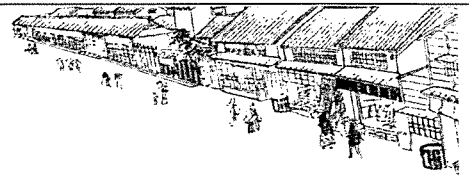
● クロアゲハが羽化して飛び立った動画を見せていただきました。毎年、アゲハチョウを飼育されていますが、クロアゲハは初めてとのことでした。

● コロナ禍の影響を受けるまで、毎週休まずに通っていた、ファロ（地域社会で仕事やレク等を通して、良好な人間関係を学ぶことを目的としている事業所）が再開し、早速、出席されました。今日は感染症対策として、衛生について学ばれたとか。来週は「団扇づくり」とのこと、楽しみにしているらしいです。

● 換気、水分補給など、ご利用者をいかに熱中症から守るか、その予防に努めています。過日回った折は、朝から蒸し暑かったので、窓を開放すると同時に、汗をかいていらしたので、衣服を調整していただきました。

# 教えてご隠居さん

知らぬことあらば「ご隠居に聞け」とばかりに今日もまた  
“ハつつあん”がやってきた。【マスク着用と熱中症のこと】



**ハつつあん**『おとつつあんが夏にマスクは息苦しいと言い出して、コロナ禍が続く中、どうしたものかと』

**ご隠居**『外気の温度が高い中でマスクを着けていると、マスク内に湿気がこもる。肺に疾患がある人は余計、息苦しさを感ずる。とりわけ、やわらかい素材の場合、ともすれば口にペタッと密着して通気性が悪くなることもあり、心臓や呼吸器系が弱い人は注意が必要だ』

**ハつつあん**『ですが、新型コロナウイルス感染防止の「一人ひとりの基本的感染対策」は、①身体的距離の確保②マスクの着用③手洗い、の3つで、マスクを着けないわけにもいかない』

**ご隠居**『外出先でマスクを着けている場合は、こまめな水分補給を心掛けること。マスクをしていると喉の渇きを感じにくくなるので、理想をいえば、起きている時間帯に、コップ6～8杯程度の水分を摂るようにしたい。が、困ったことに、水分補給の際に、マスク

を外すのが面倒と思う人がいるので、そこは、極端な話、“お務め”だと思って飲むようにしてほしい。水分補給は時間を決めて。運動中は、30分に1回の補給を』

**ハつつあん**『そうそう、おとつつあんも、知らないうちに脱水症状になっていたことがありました』

**ご隠居**『尿量が減っていないかにも気を配って欲しい。マスク着用については、人との十分な距離が取れている屋外なら、あえて装着する必要はない。人と会う場所なら、素材や通気に配慮した夏用のマスクを選ぶといい。ともあれ、マスクと共に過ごさなければならぬ今夏は、「高温多湿」の場所には行かないこと。室温が28℃を超えたら、必ず冷房をつけること。因みに、熱中症による発熱であったとしても、この先しばらくは、“新型コロナ”による感染も同時に疑われるわけで、大事になってしまう。なので、感染防止の基本を守った上でなお、くれぐれも用心して過ごしましょう』

## 協力会員の広場

### (菅原小夜子さん・ケアマネジャー)

“まごころ”に勤務すること5年。あつという間の日々でした。

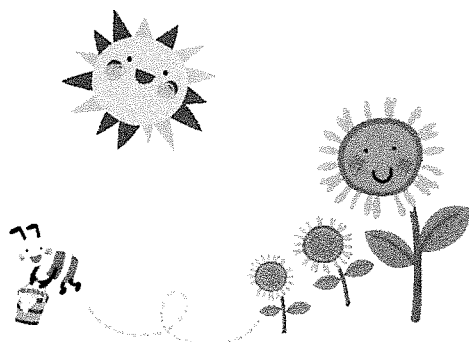
もともと東京には「人生で1回は住んでみたい、1年経ったら地元に戻ろう」という気持ちで来たのですが、思いのほか居心地が良く、気づいてみれば長い月日が経っていたというのが、本当のところです。

環境の違いにとまどうこともありませんが、ご利用者さまとより、事務局スタッフ、ヘルパーの皆さまに支えられながら楽しく働くことができました。

現場では、幼い子らの成長する姿を垣間見たり、ご利用者と様々なお話をしたり、はたまた、どうしたら介助が上

手くできるかをスタッフと話し合うなど、かけがえない時間を過ごしました。

訪問介護で得た経験を今後に生かしたいと思います。皆さま、大変ありがとうございました。どうかお体を大切に、お元氣にお過ごしください。





**お知らせ**

新型コロナウイルス感染症の流行にともない当分の間、「まごころこめこめ倶楽部」の開催を見送ることにいたしました。楽しみにしていらっしやる皆さまには本当に申し訳なく思っております。どうぞご理解のほど宜しくお願い致します。

※地域生活支援事業「まごころこめこめ倶楽部」は、高齢者、障がい者、そのご家族が気楽に交流できる居場所づくりを目的とした、まごころサービスのボランティア事業です。

**賛助会員のご支援いただきありがとうございます**

- 今泉 シナ様 ●大脇 美代子様
- 山崎 孝様 ●勝屋 千津子様
- 相場 裕美様 ●神田 秀樹様
- 中野 知代様 ●青木 康雄様
- 内堀 尚夫様 ●上村 ムツ様
- 大谷 静子様 ●菊原 和子様
- 渡邊 徹平様 ●岸 明治様
- 中島 美智子様 ●堀井 佳奈子様
- 佐藤 正人様 ●水野 成雄様
- 關本 孝子様 ●奥村 親一様

- 富永 一朗様 ●西村 早苗様
  - 岩尾 光代様 ●仲里 潔子様
  - 杉山 歩様 ●本間 百合子様
  - 池田 高信様 ●塚原 テフ子様
  - 横田 つる代様 ●山本 武子様
  - 西 栄子様 ●岡田 七郎様
  - 星 義様 ●浅野 良子様
  - 森 一郎様 ●森 眞理子様
  - 加藤 萬智子様 ●加藤 幸子様
  - 香山 誠志郎様 ●山崎 寿美子様
- (順不同・令和2年7月現在)

**「ご寄付いただきました」誠にありがとうございます**

●森 一郎様  
(令和2年7月現在)

**営業時間外**

**緊急時のご連絡について**

※平日時間外及び休日のご連絡は左記の番号におかけください。なお、留守番電話は転送されますので「お名前とメッセージ」を録音して下さい。

- 東京山の手まごころサービス  
電話03(3205)6813代表
- 事務局の営業時間(平日) 月曜日～金曜日 9時～18時まで
- 事務局の休業日(サービスは通常通り提供しております) 土・日・祝日  
他、年末年始、夏季休業期間については、前もってお知らせします。

**活動実績報告・活動時間  
(令和2年4月～令和2年6月)**

	令和2年 4月～5月平均	令和2年 6月	合計	月平均
移動支援	208.0	221.0	429.0	143.0
介護保険	1097.1	589.5	1686.6	562.2
回復・リフレッシュ	68.0	35.0	103.0	34.3
自費・マイプラン	414.5	236.5	651.0	217.0
重度訪問介護	260.0	148.5	408.5	136.2
居宅介護	1231.0	715.0	1946.0	648.7
同行援護	675.5	440.5	1116.0	372.0
日常生活支援 総合事業	452.0	228.3	680.3	226.8
総計	4406.1	2614.3	7020.4	

**編集後記**

コロナ禍、そして大雨による災害など、心配事が次々と押し寄せ、心休まる暇がない日常が続いています。新型コロナウイルス感染者数も東京は高止まりが続く、気の抜けない状況です。そうはいっても、後ろ向きな思考で過ごしているとは免疫は下がる一方なので、とにかく、意識的に面白いことを探して、抵抗力のある身体づくりに励みましょう。可笑しくなくても作り笑いでも効果があるということなので、「鏡に向かって笑顔を作る」ことを習慣にしましょう。体操だと思って続けているうちに笑顔が上手にできるようになります。うがい手洗いの励行、マスクの装着など、感染対策を怠ることなく、この状況を乗り切りましょう。 西野(智)

**夏季休業日のお知らせ**

誠に勝手ながら事務局は左記の日程でお休みさせていただきます。この期間のご連絡は留守番電話で承ります。  
8月10日(月)～8月16日(日)  
※電話03(3205)6813